

Press Release



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

令和7年2月28日

配布：新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
扱い：配布後解禁



3月15日(土)に栗ノ木バイパス 紫竹山交差点を切替えます【5回目:最終】



国道7号栗ノ木バイパスでは、渋滞緩和、安全性向上などを目的として、立体道路(高架橋)の整備を行っています。

このたび、立体道路下の横断に必要な高さを確保するために昨年から進めてきました地面を下げる工事の進捗に伴い、紫竹山交差点の最後の道路切替え※を行います。※2か年で計5回実施するうちの最終回。

切替え日時【5回目】(予定)

令和7年 **3月15日(土)** 午前6時

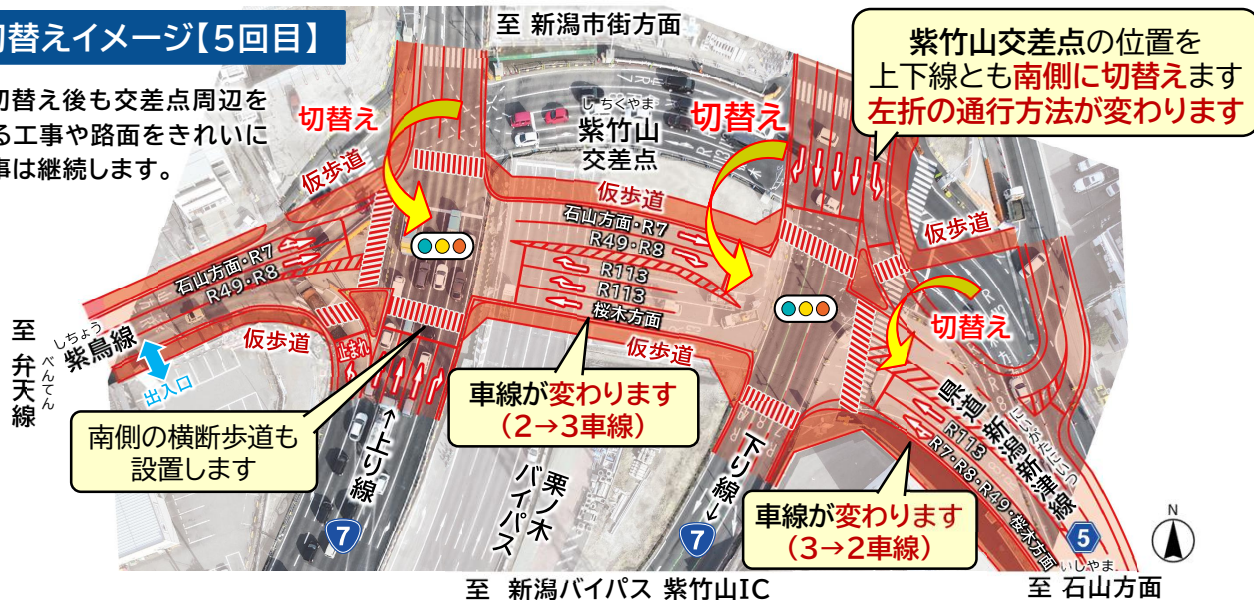
※荒天時等の場合は、翌日以降に順延

紫竹山交差点付近の区画線工事のため、前日の夜間
3月14日(金)午後8時から車線規制を実施します。
通行は現地の誘導員の指示に従ってください。



道路切替えイメージ【5回目】

※今回の切替え後も交差点周辺を整備する工事や路面をきれいにする工事は続きます。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

工務第一課長 齋藤 勝博(さいとう かつひろ) (内線 411)

新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7759



HP



X (旧Twitter)

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

紫竹山交差点改修工事について

[別紙 1]

位置図



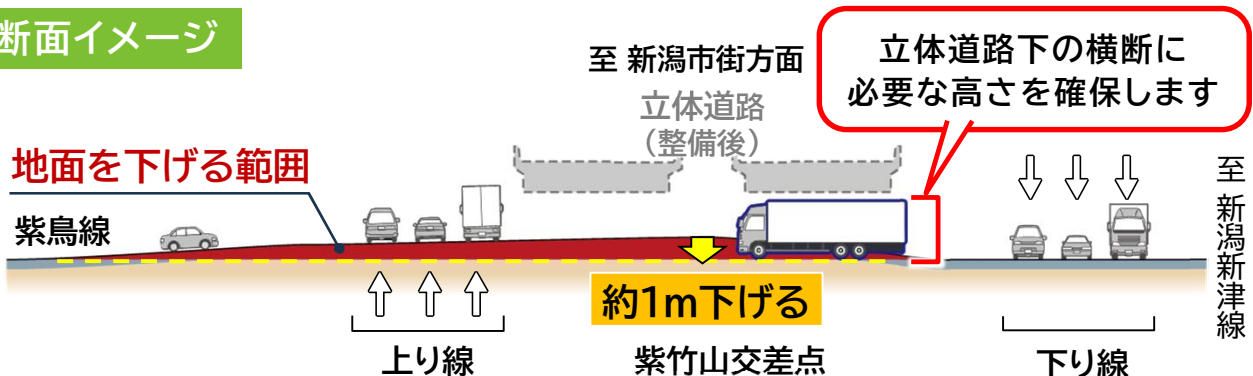
●この工事が完了すると、笹越橋交差点～紫竹山IC間の立体道路の整備空間が整います。

■栗ノ木バイパス下り線から見た紫竹山交差点(紫鳥線方向)



紫竹山交差点内の高低差が無くなり、見通しも良くなります

横断面イメージ



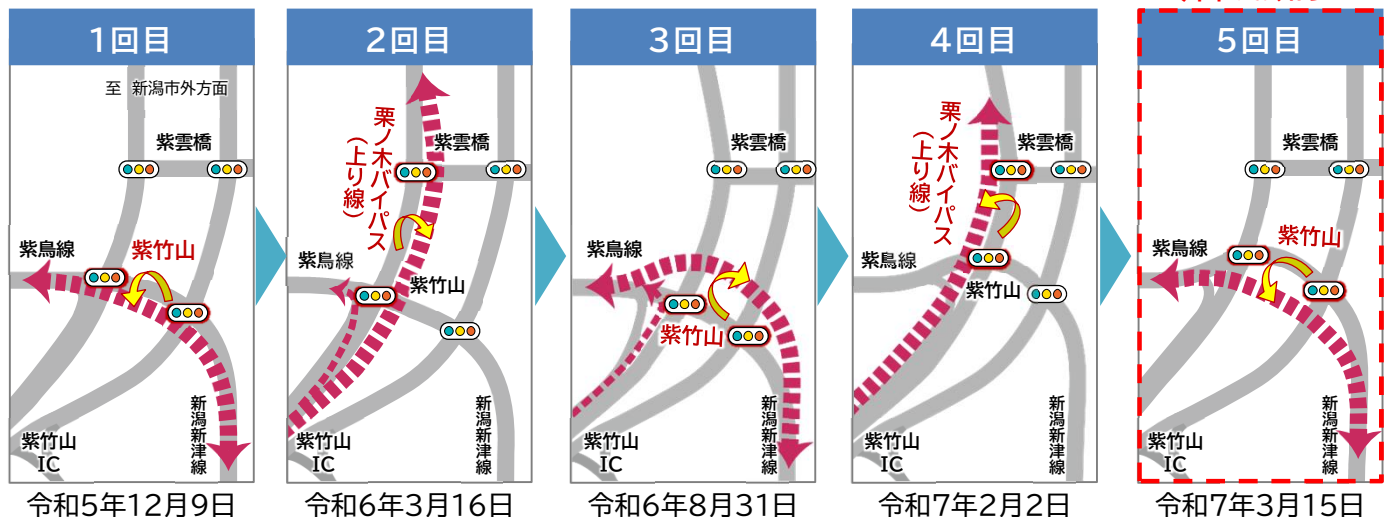
立体道路下の横断に必要な高さを確保します

道路の切替えイメージ

※地面を下げる工事は4回目では完了

- 長期の通行止めをしないよう、切替えを繰り返しながら少しずつ地面の高さを下げていきます。
- 工事は2か年に渡り、全5回の道路切替えを行い、今回が最終回になります。

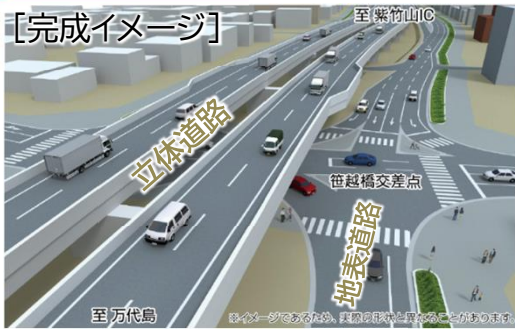
今回のお知らせ



国道7号 栗ノ木バイパス周辺の 令和6年度工事予定のお知らせ

[別紙2]

【完成イメージ】



栗ノ木バイパスの渋滞緩和、安全性向上などを目的として、立体道路の整備を行っています。

「通過する交通」は立体道路へ、「地域の交通」は地表道路へと整理することで、交通の流れがスムーズとなり安全・安心な道路を目指します。

① 立体道路の橋梁上部工事

笠越橋交差点付近の4橋脚間(上下線両側)、笠交差点付近の6橋脚間(下り線側)の橋梁上部工事に着手します。今後複数年で工事を行います。

② 立体道路の橋脚工事

工事中の27基に加え、新たに11基の工事を行います。これにより、完成している16基とあわせ、54基/84基に着手することとなります。

③ 道路整備工事

道路位置切替えに向けて、基盤整備を行います。

④ 南紫竹IC(出口)整備に向けた準備工事

南紫竹IC(出口)を整備するために、基盤整備を行います。

今回のお知らせ

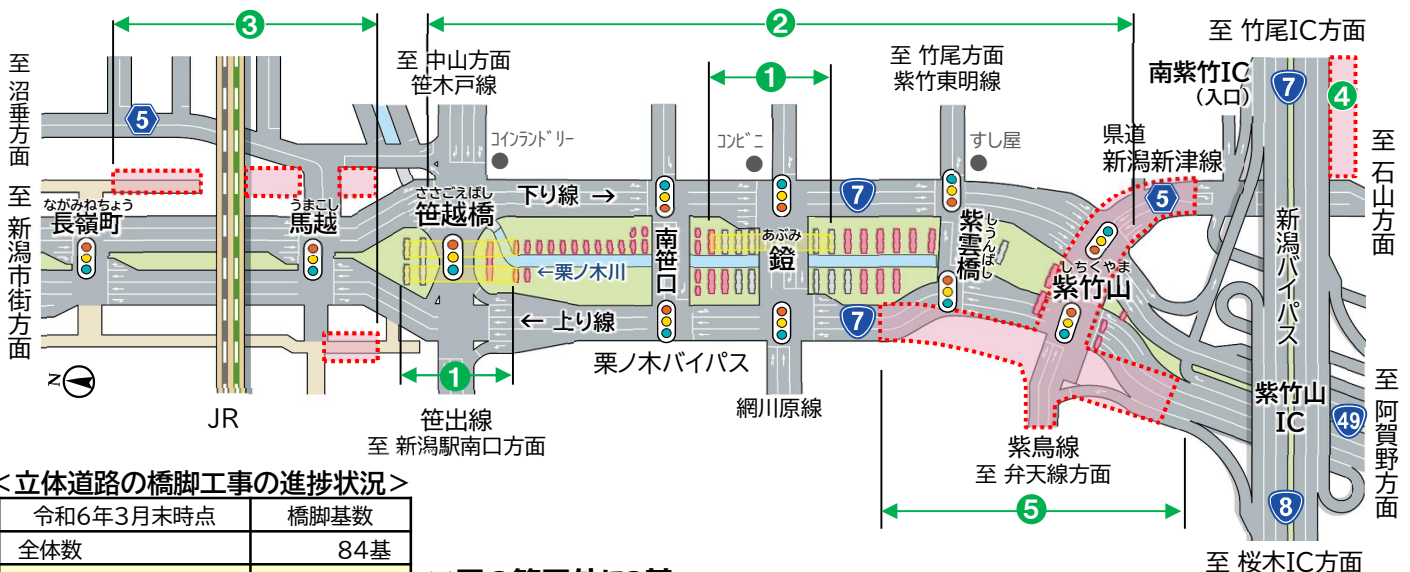
⑤ 道路の路面の高さを下げる工事(紫竹山交差点周辺)

昨年度より引き続き、道路位置を切替えながら、段階的に工事を行います。全5回の道路切替えのうち、2回が完了しており、今年度に残り3回の切替えを実施します。

【位置図】

主な整備区間

橋梁上部工事区間



<立体道路の橋脚工事の進捗状況>

令和6年3月末時点	橋脚基数
全体数	84基
令和5年度までに完成	16基
令和6年度工事	38基
工事中	25基
令和6年度着手	13基
令和7年度以降	30基

※図の範囲外に2基

工事によっては、交通規制を伴いながらの施工となります。交通規制の期間や内容については詳細が決まり次第別途お知らせします。